

愚図愚図散步148 日日是好日131

2025.12.01.

制作・撮影 浦野俊之



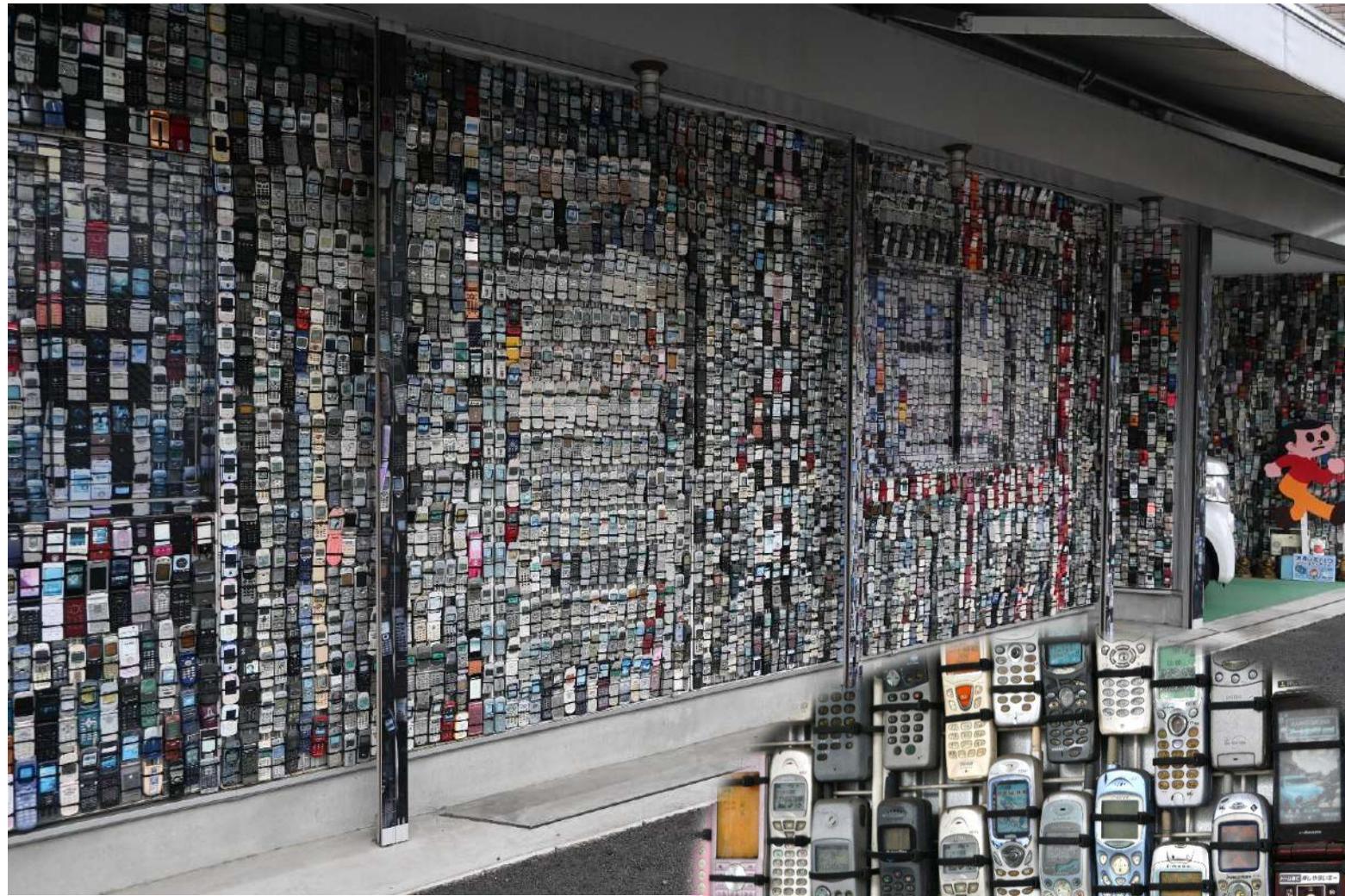








すがも中山道菊まつり。



電気店わたでんは、以前、ガラ系携帯電話を扱っていた頃の古い電話を壁一面に飾っています。以前掲載したことがあります、改めて見ると、その異常さに驚きます。
(江戸川区南小岩8-26-1)





街の風景。(江戸川区南小岩8-7-10)



東大農学部に近付くと、消防車のサイレンが多数聴こえ、続々と消防車が門の中に入って行きます。構内に入ると、煙も火の手もなく、学生が走り廻ることもなく静かです。気が抜けて逆に変だと思い、消防士にお聞きしますと、現在調査中ですとの答え、警備員が消防車9台、パトカー1台、救急車1台、外に消防車2台待機中ですと何処かに連絡していました。空にもヘリコプター一機がとんでいました。



調査中の東京大学農学部3号館前の状況。



石の玉がゴロゴロ。(神田神保町2-30)



自然観察公園で大はしゃぎで木登りをしています。女の子の方が活発に楽しんでいる様でした。



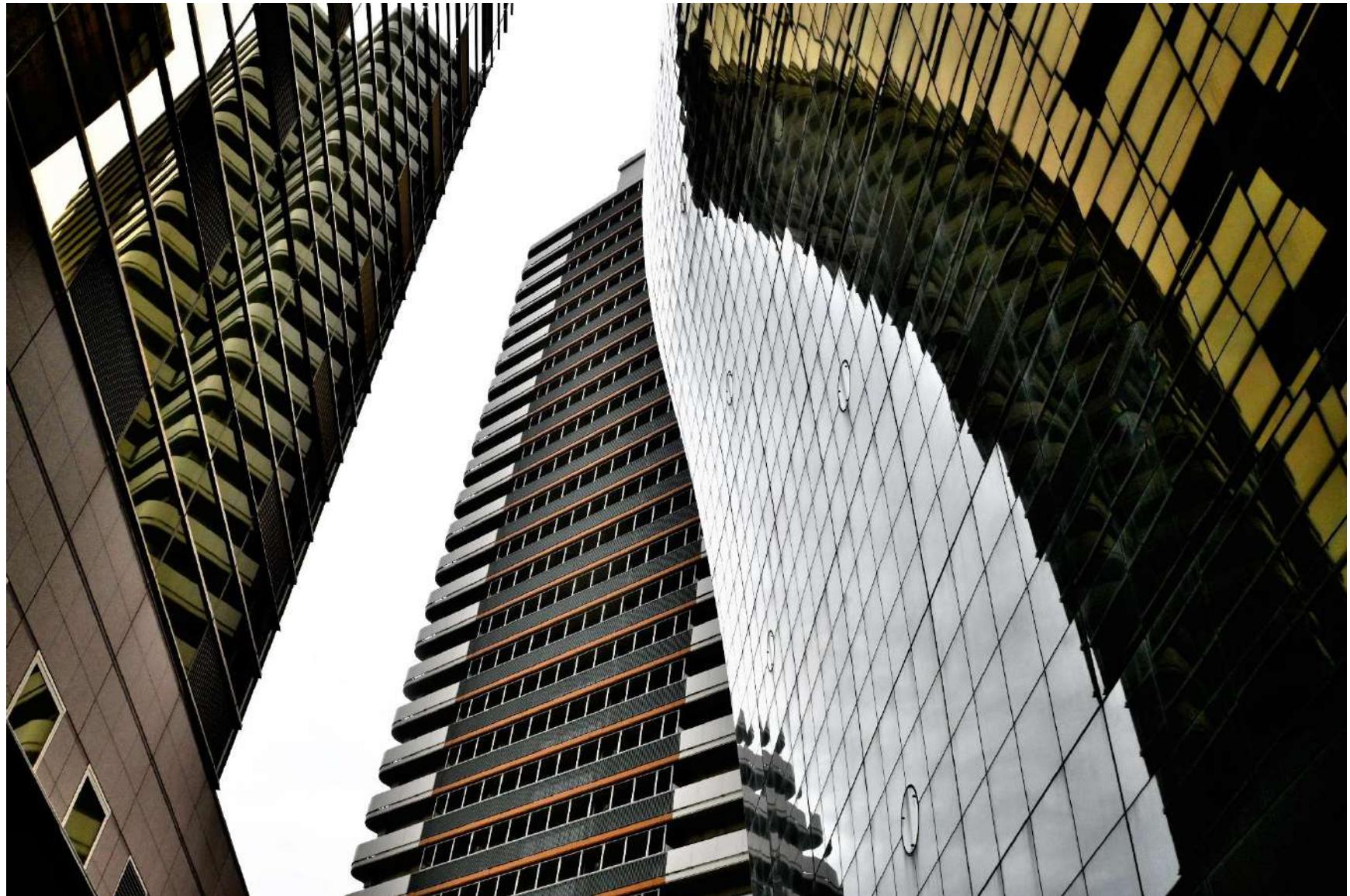
ケヤキの太い根魂が崖から露出して、巨樹の生命力の強さを發揮しています。(北区赤羽台3-21-32)



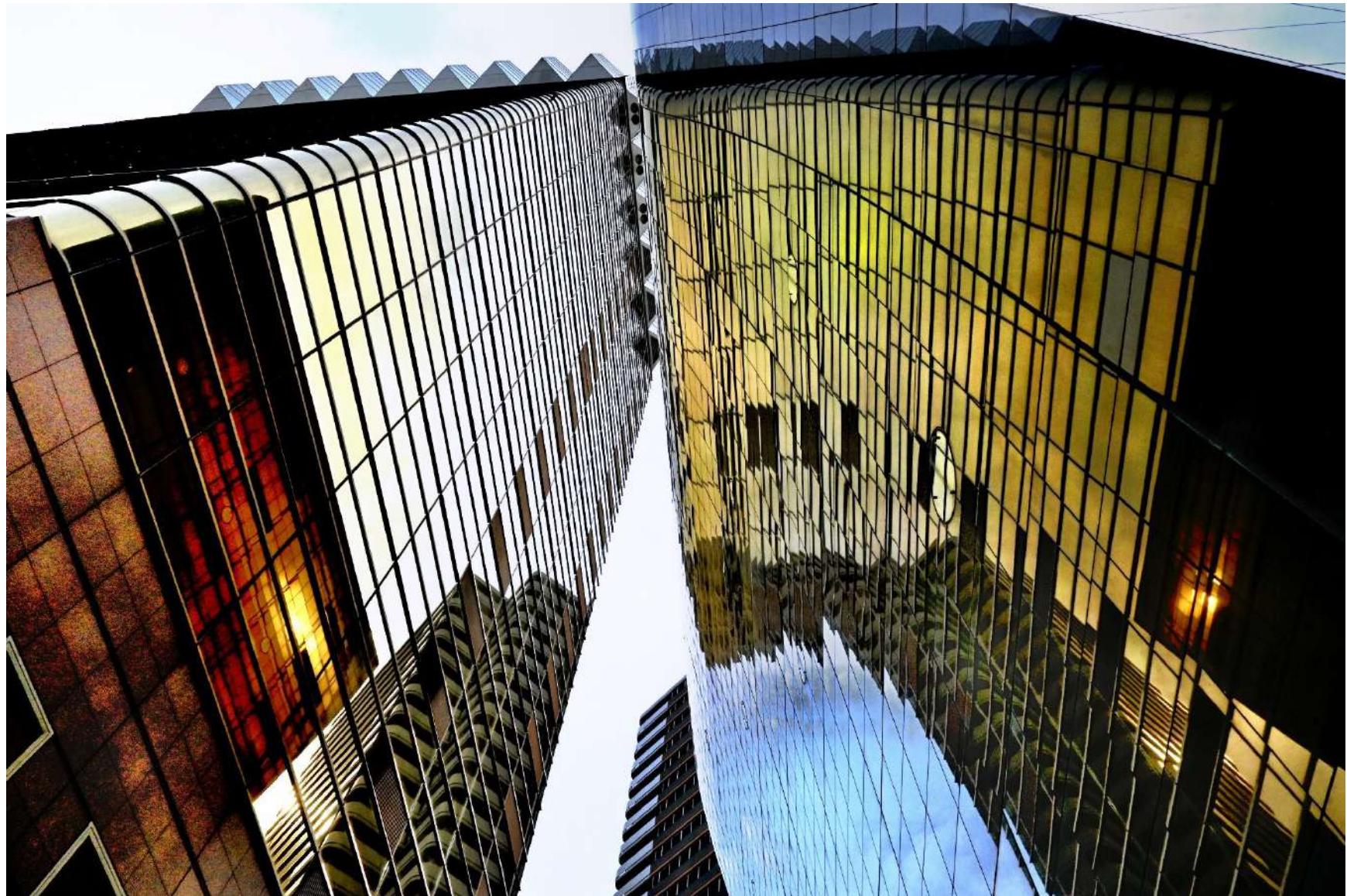
赤羽緑道公園脇の墓地に井戸側と共に壊れたポンプが置かれていました。この状態になってからどの位経つのでしょうか。
(北区赤羽台3-4-19)



牛嶋神社の石と木の無限接吻。(墨田区向島1-4-5)



リバービア吾妻橋。ハッカー集団のサイバー攻撃を受けて大変ですが、建物の魅力は変わりません。(墨田区吾妻橋1-23)





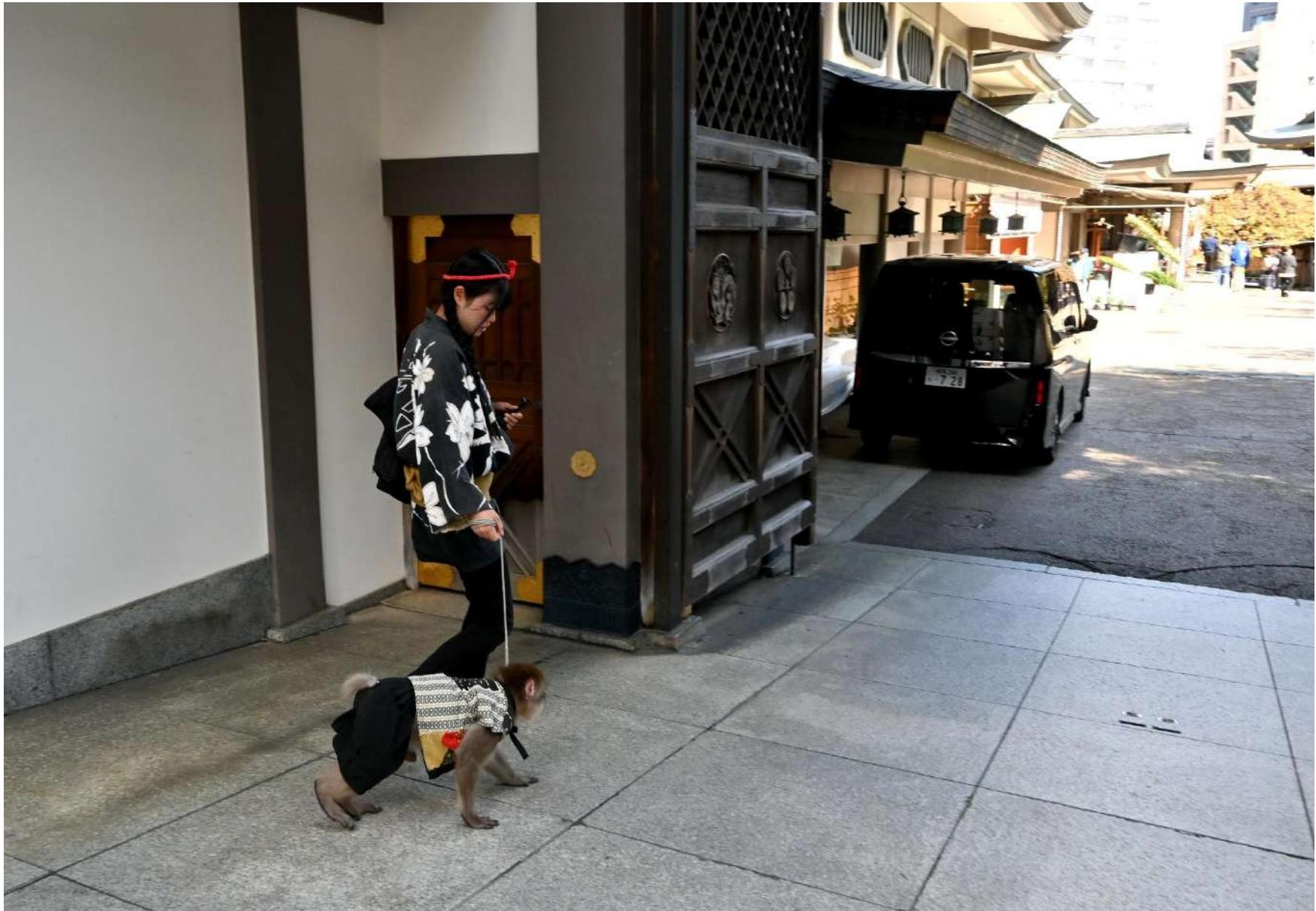
雷門近くの寿四丁目交差点の多面ガラスの映る様も鮮やかなビル。(台東区寿2-10-13)



銀座DIORのショウウインドーに無数の星がちりばめられた 夜空に舞う天馬が飾られていました。すっかり秋冬の澄んだ夜空のイメージが幻想的だと思い、調べますと、『ディオール2026年リゾート、“ペガサス”が舞うピアス＆“ライオン”が輝くゴールドリングが登場。壮大なローマの神話や建築から着想を得たディオールの新作ジュエリーは、詩情とエネルギーを兼ね備えたコレクション。1点取り入れるだけで、まるで物語の主人公になったような特別な存在感を演出してくれる。コピペ』だそうです。



銀座の交詢ビルのウインドウはもう、雪人間のディスプレイです。1~2週間前まで夏の様だった気温が嘘の様な季節を取りしたオブジェの登場です。季節は替わりもう秋冬です。(中央区銀座6-8-7)



おサルさんの御出勤。(湯島天神菊花展)



鉄パイプが細く見えますし、咥えこんだ長さは今まで一番長い。(日比谷公園)



ナンダ！どうした！大きな瘤を作って？ どうして街路樹がこうした大きな瘤を作るのでしょう。（墨田区横川2-13-15）



東京スカイツリー傍にある「お城 森八」御菓子司。昭和8年創業、多分東京で一番立派なお菓子屋さんです。まるで本物のお城のようです。(墨田区業平1-3-6)



新宿御苑大温室で見たハイビスカス。派手な色合いではありませんが、不思議な魅力で心引き付けられました。ラベルを見ると、伊良湖岬のハイビスカスとなっています。愛知県渥美半島の農園の方が、育種された珍しい色合いの大輪系オリジナルハイビスカスだそうです。



東博の庭に織りなす秋の風物詩、ユリノキの黄葉。



博物館を出て、上野公園噴水広場に行くと、多数の出店が並び入り口に馬が三頭出迎えていました。何が始まるのか待つまでもなく、出番が来るよとの声に合わせ、馬の胴体に人が入り、動き出しましたのでついて行きました。



広場では青森人の祭典、民謡に合わせ、踊りが華やかに始まりました。



派手派手な青森人の祭典が、真っ赤な鎧姿の怪人と、舞台観客共に舞い盛り上がります。。



舞台では民謡が歌い演奏される中、先程の馬が次々に登場、荒馬が会場をのし歩きました。撮影し気持ち豊かな一日を過ごしました。



細長い家の階段。(北区王子本町2-1)



日暮里の夕焼けだんだんにある、中東料理店 ザクロレストランの幻想的な照明、料理だけではなく、ベリーダンスの舞もあり、細やかな装飾のランプに照らされ、異国に来たような錯覚に落ち、時を忘れ楽しめます。以前来た時は等身大の駱駝があり、友人達が取り囲み、一人が乗って撮影をした思い出がよみがえりました。(荒川区西日暮里3-3)



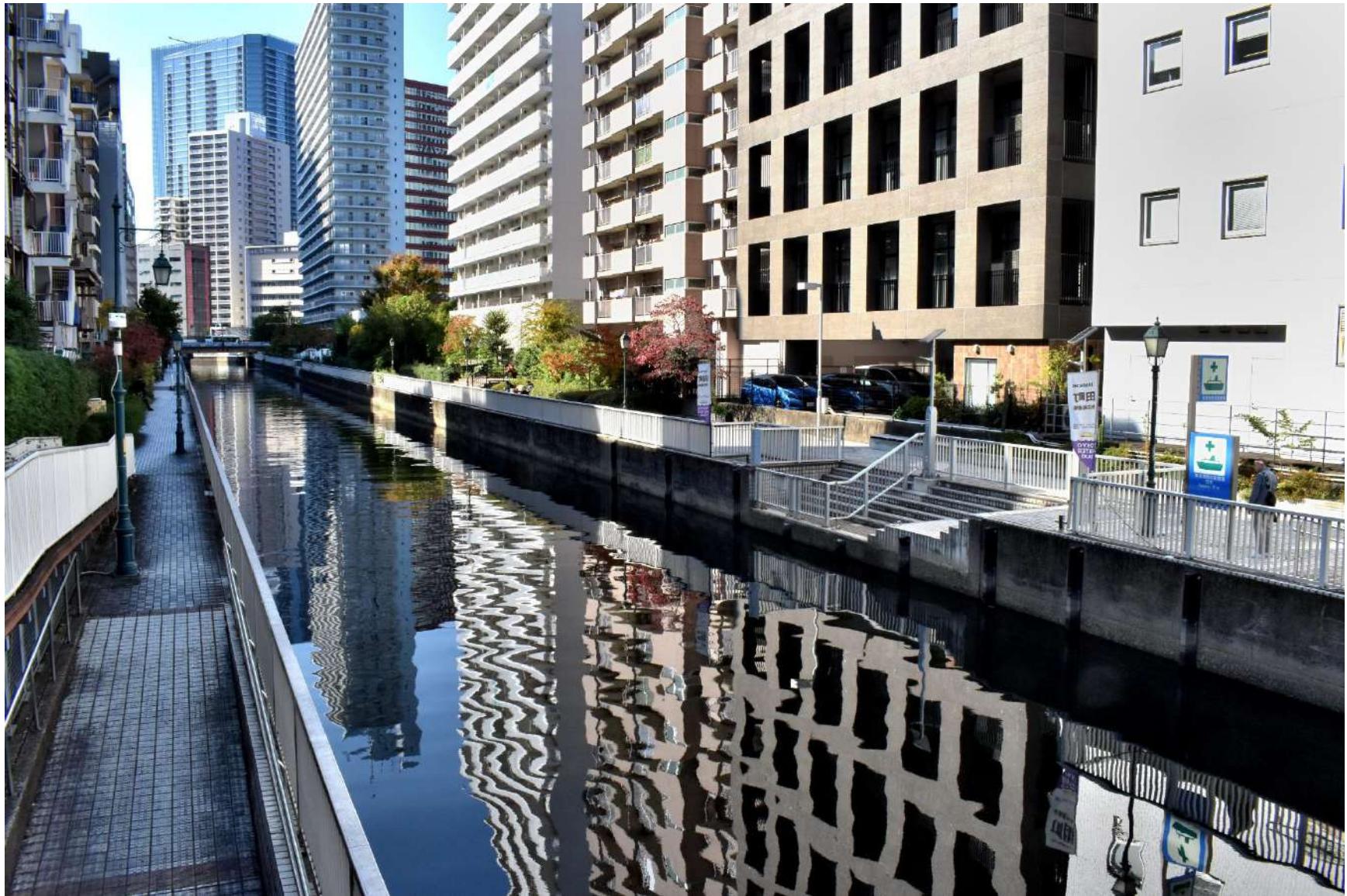
鉢を割って根を張り、幹を多数伸ばして頑張ったのに、残念気の毒。(荒川区東日暮里2-17)



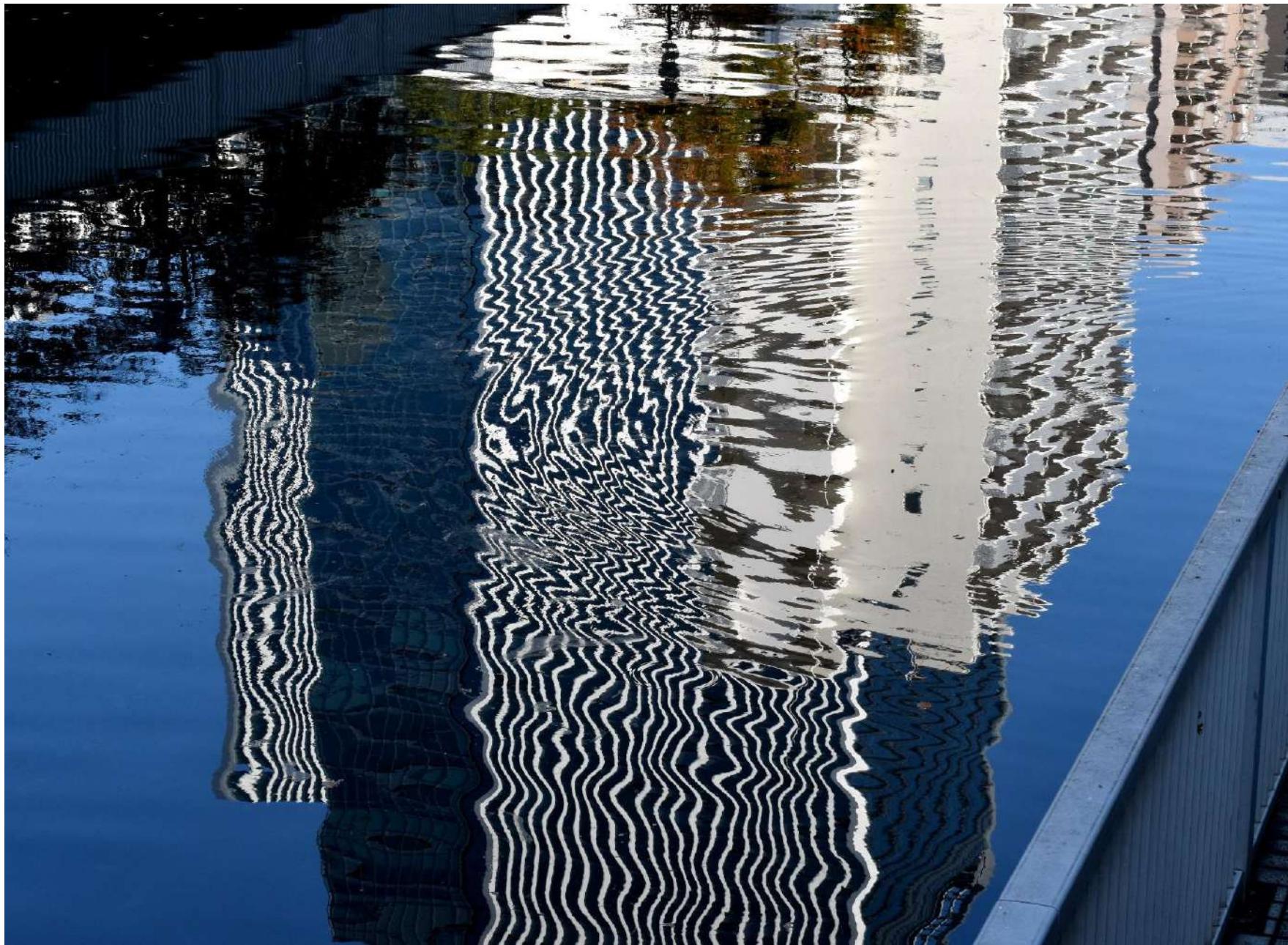
大きなテントを赤羽スポーツの森公園に設営している現場に出会いました。ほぼ毎日この地で雲の状態を記録している私の記憶の中で、一番大きなテントです。如何した訳かお聞きしますと、那須で3泊8人で寝起きしたが、最後の日が雨で濡れてしまい、大きいので乾かせず、天気の良い今日、やっと干して乾かして居る処ですとのお答えでした。いろいろな人が居るものです。

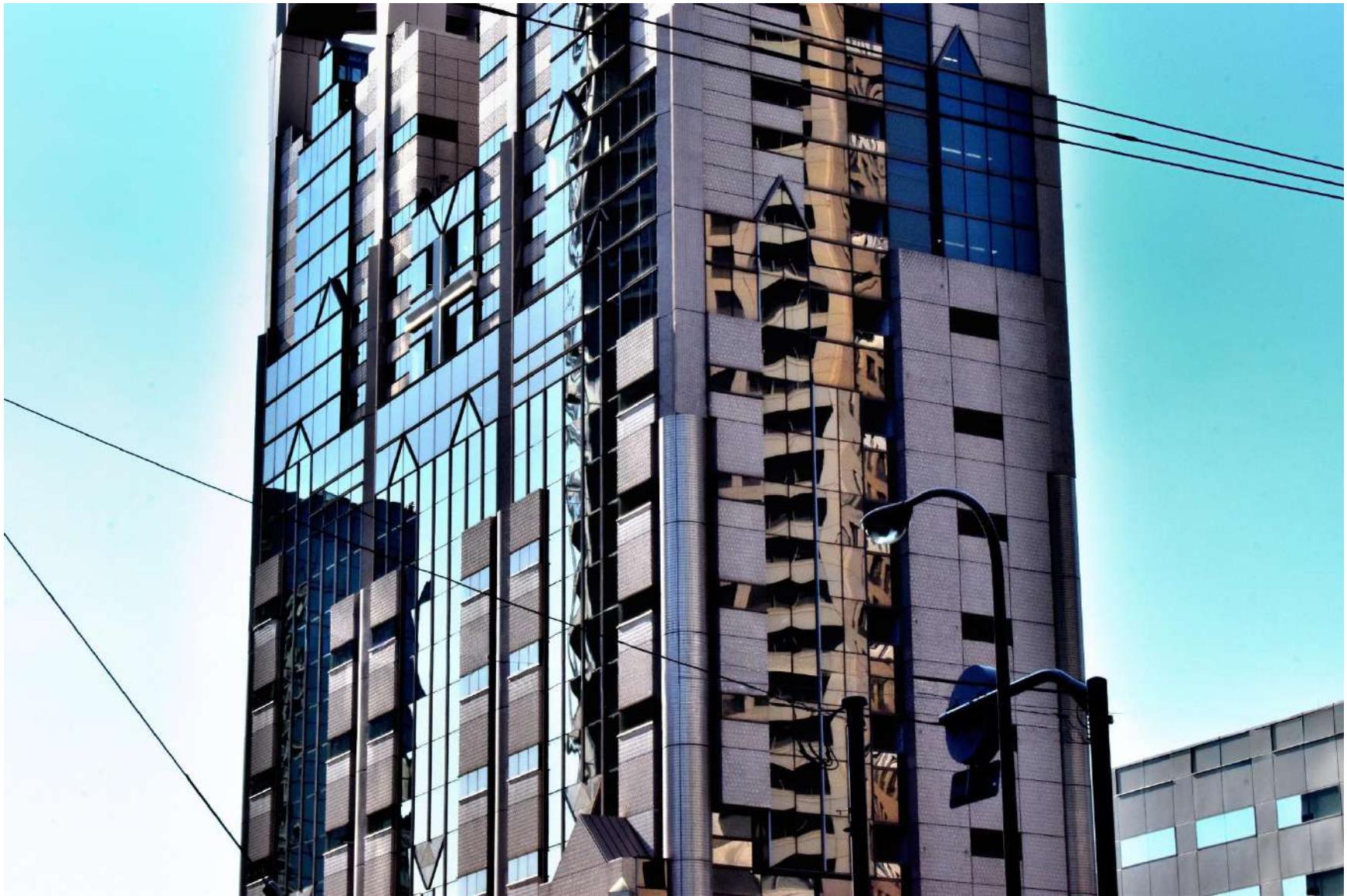


高野フルーツパーラー入り口の天井から吊り下げられたオブジェ。もしかするとTAKANOと書かれた文字かもしれません、アルファベットが繊細な美しさを發揮していました。(新宿区新宿3-26)



新芝運河に映るビル群。





ガラス細工の様に光るジャパンタイムズ社のモザイク模様。



小名木川クローバー橋が、十字形に川面に映って美しい穏やかな風景。(江東区大島1・扇橋3)



大衆食堂 そのだ 大きな暖簾と云うか垂れ幕と言おうかこの様なお店を見るのは初めてです。大阪で繁盛しているお店の東京一号店だそうです。(品川区東五反田1-15)



今年もお世話になりました。



来年もよろしくお願ひします。